

三朝町ノーテレビデーの取組み

子どもたちや保護者の実態

平成15年度に実施したアンケート結果で、テレビやビデオ、テレビゲーム等が生活習慣の乱れに大きく関係している実態がわかった。

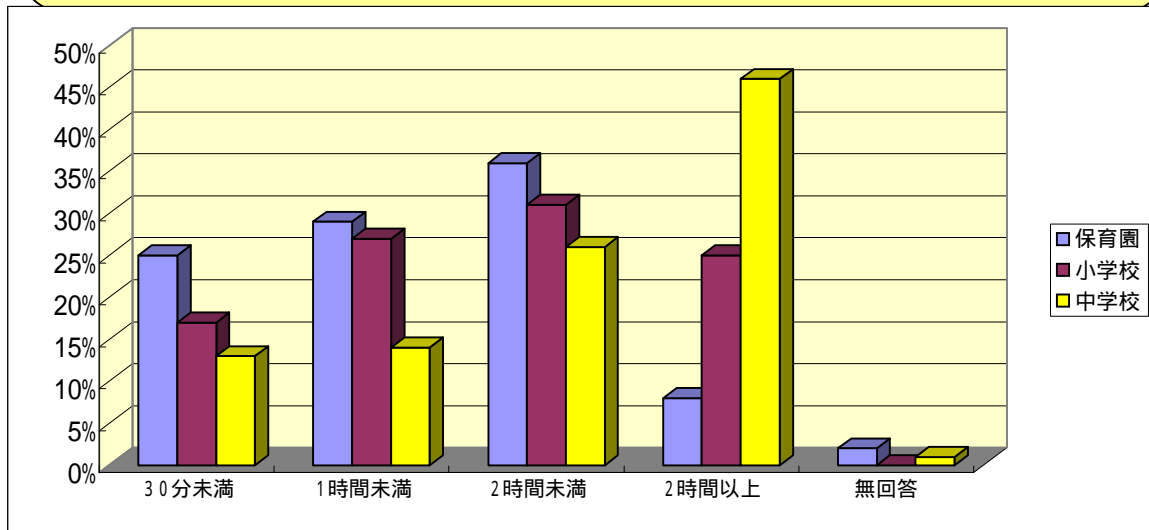
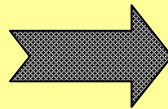
【子どもたちのテレビ等の視聴時間】

< 2時間以上 >

保育園児 8%
小学生 25%
中学生 46%

< 4時間以上 >

小学生 12%
中学生 10%



【子どもたちの就寝時間】

< 10時以降 >

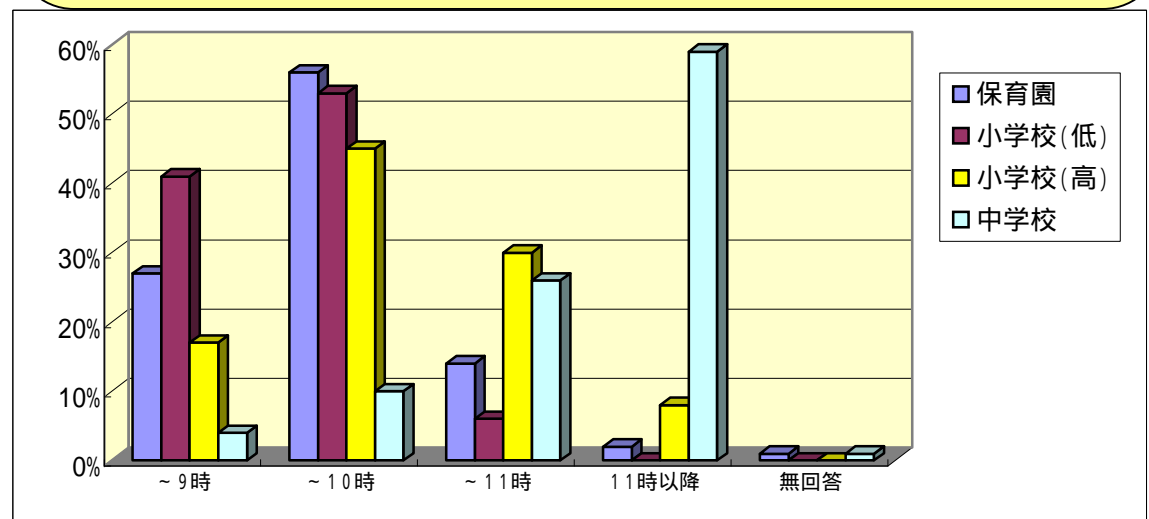
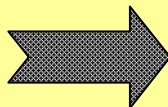
保育園児 16%
小学生(低) 6%
小学生(高) 38%

< 11時以降 >

中学生 59%

< その理由 >

テレビ等の視聴
小学生 40%
中学生 30%

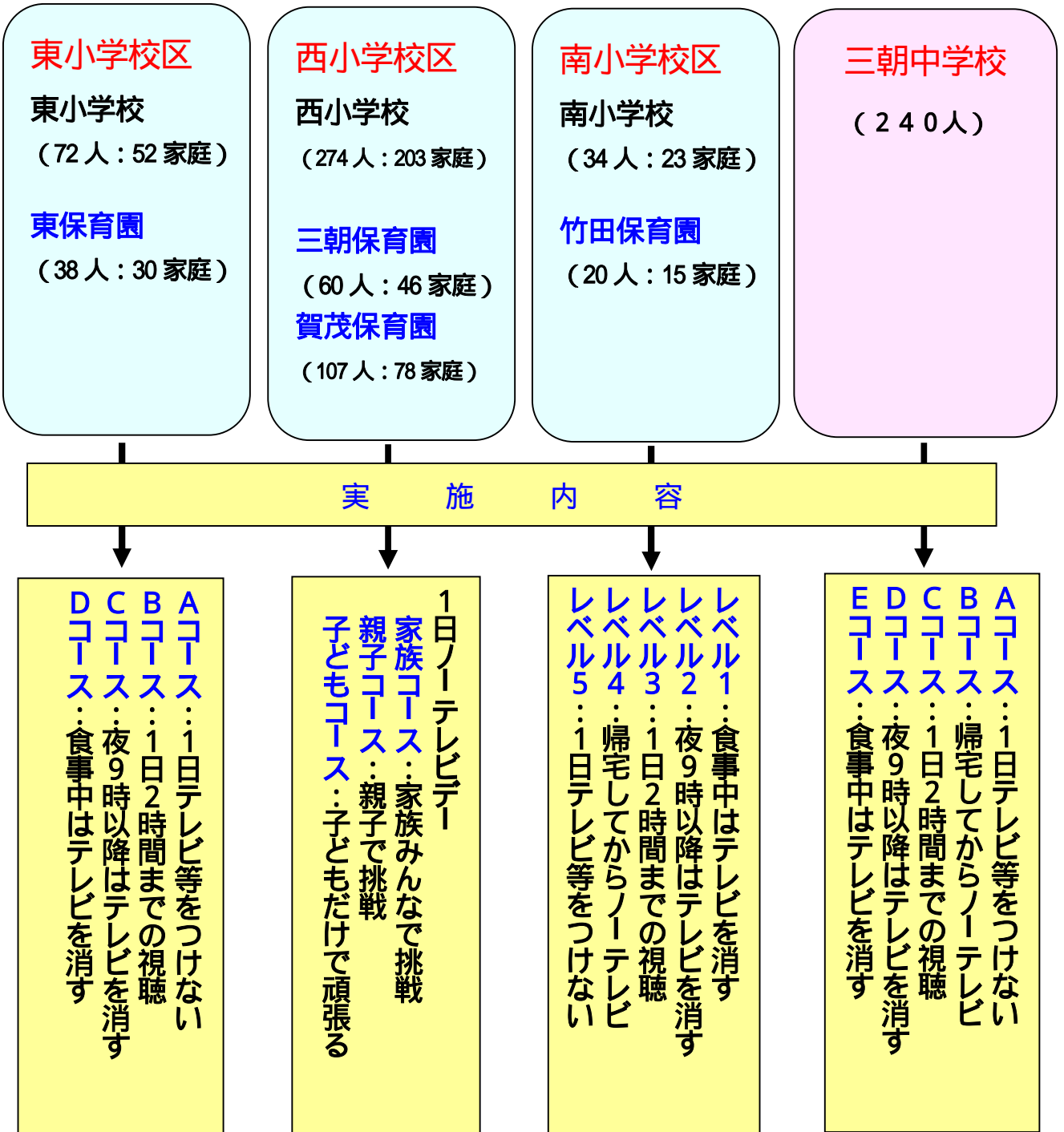


具体的な取組み

そこで、規則正しい生活習慣を身につけるために、学校独自で取組んでいたノーテレビデーを、全町統一して実施することにした。9月から毎月15日を「憩の日」と設定し、期日を統一して実施した。

具体的な取組み方法は、小学校区毎に保育園と小学校が連携して取組んだ。11月15日は「全町ノーテレビデー」とし、子どもがいない家庭にも呼びかけ全町民あがての取組みとした。

三朝町ノーテレビデーの実施状況



子どもの意識や家庭状況の変化

● 毎月継続した結果

毎月継続して取り組む事で、チャレンジではなく当たり前の事として定着している家庭が増えた。

● テレビに対する意識の変化

月1回の取り組みから、毎日の生活に広がり、「食事中は必ずテレビを消す」「見たい番組だけを選んで見る」など、家族の中にテレビに対する意識の変化が見られるようになった。

● 積極的に取り組んだのは・・・

15日になるとテレビにノーテレビデーと書いた紙を貼り、家族に確認する子どもの姿があった。大人よりも子どもたちのほうが意識して取り組んでいる。

● 大人たちの気付き

テレビを消す事で、子どもたちの様子が普段よりよく見え、いかにテレビやビデオに子守りをさせていたことに多くの大人たちが気付いた。

● 子どもの期待

子どもたちは、家族が本を読んでくれたり、遊んでくれるのを非常に楽しみにしている感想が、保育園児や小学校低学年に多かった。

大人がテレビを見ないことで、しっかり自分に目を向け、関わってもらえるのが嬉しいようである。

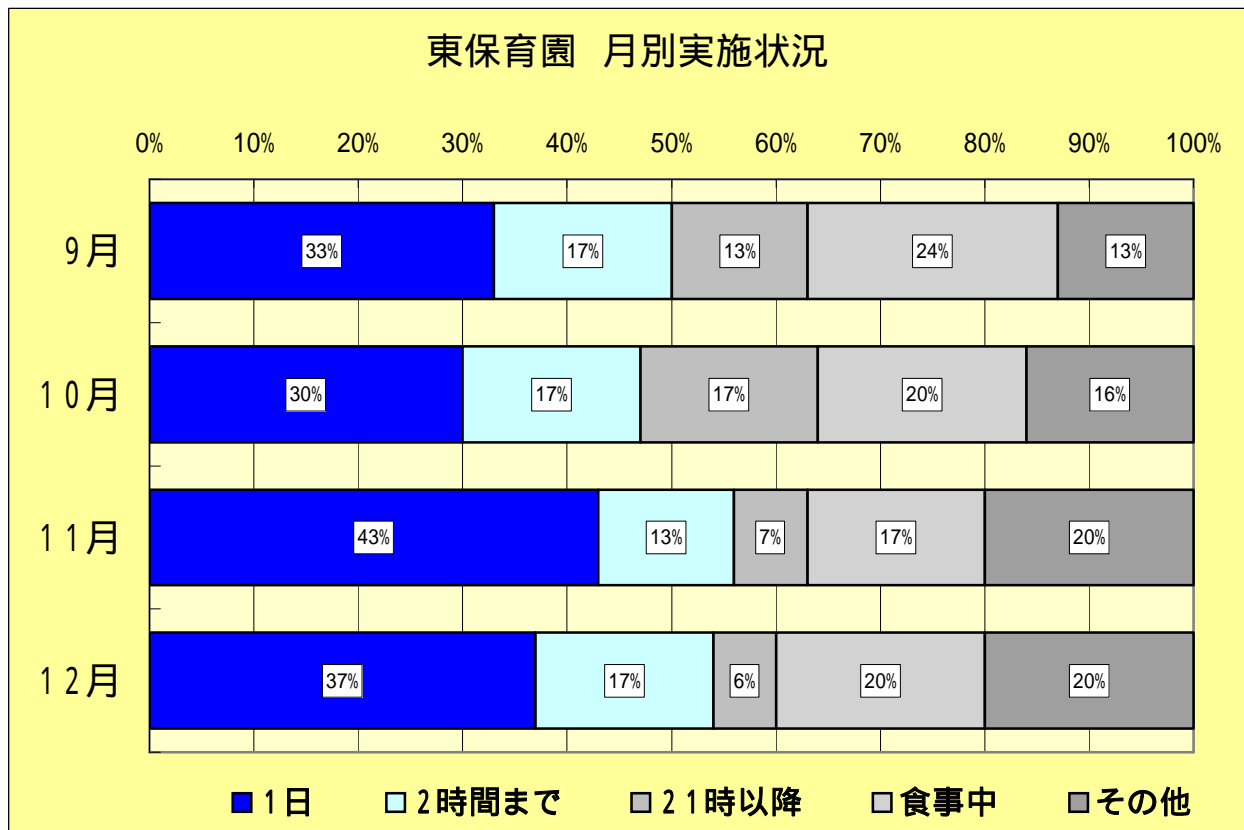
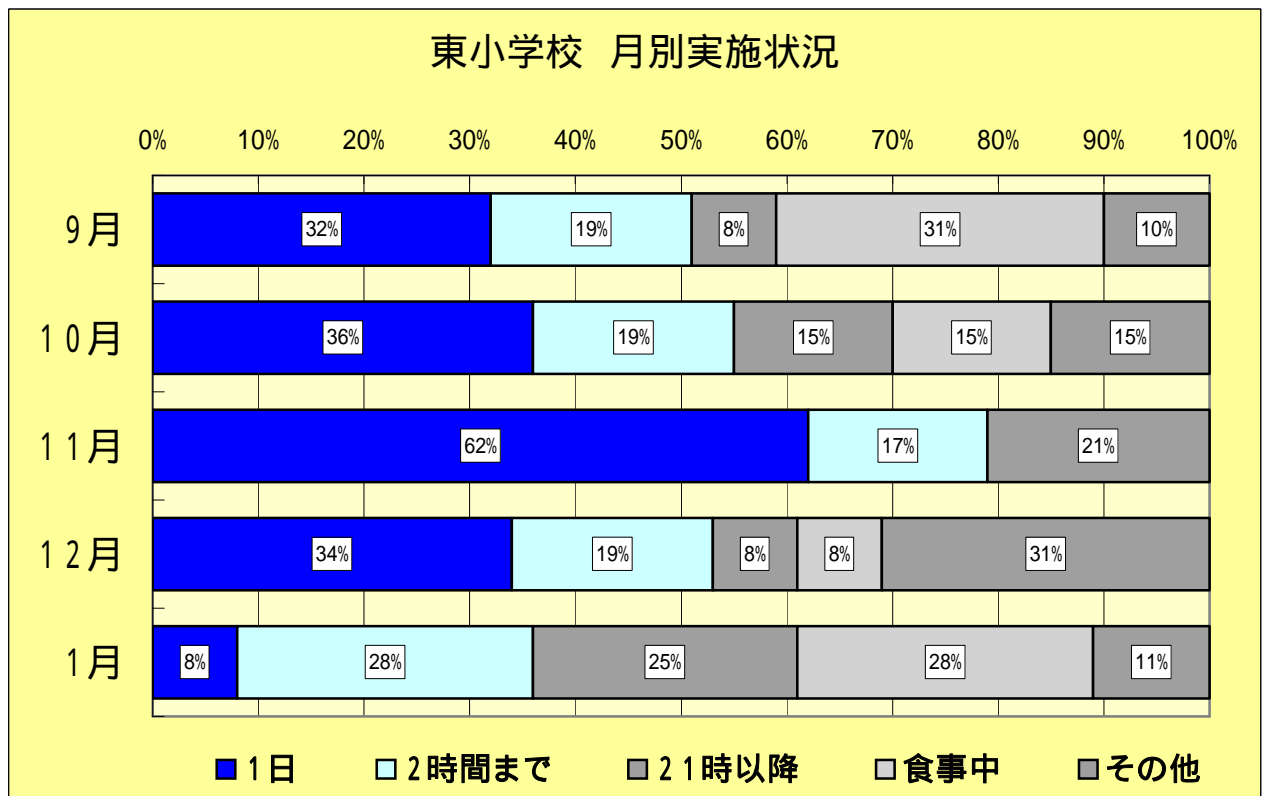
おわりに

「つらかった」「我慢した」という子どもたちの感想や「親のほうが耐えられない」「お父さんが嫌がっている」という家庭もあり、高学年や大人のほうがスムーズに取組めない実態もありますが、多くの家庭ではノーテレビデーのプラス面に気付いてもらったと感じています。毎日の生活にも変化が見られるようになりました。

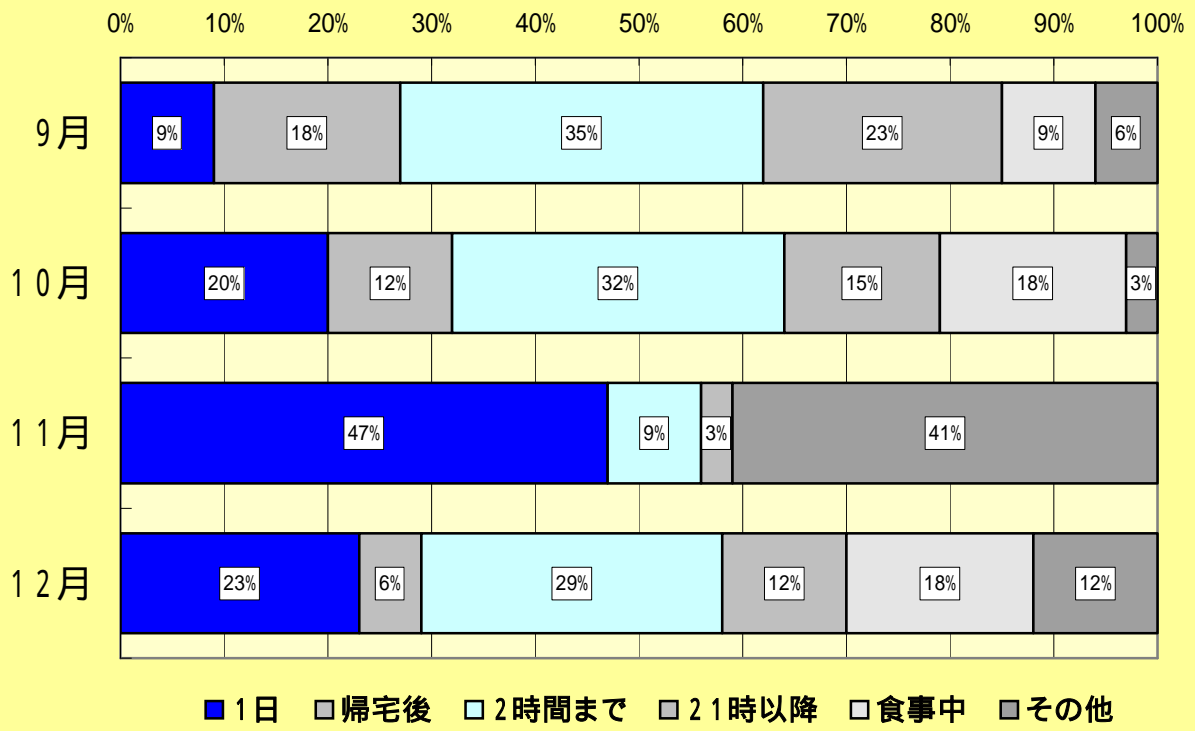
テレビは情報を得るための大切な情報源の一つです。保護者の中には、1日ノーテレビはナンセンスと考えている方もあります。しかし、子どもたちやわたしたち大人がテレビをはじめとするメディアに振り回されている現実を、この取り組みで実感された家庭が多くあったのは事実ですし、普段の生活の中でかなり意識された家庭が増えました。

このノーテレビデーの取り組みは、始まったばかりです。各団体の代表で実行委員会を組織し、実施日を決めて全町的に取り組んだ事で、保護者の受け入れ、子どもたちの取り組みもスムーズのできたのではないかと考えています。今後も、子どもたちの毎日の家庭生活が豊で潤いのあるものになるよう、家庭と連携しながら押し付けでないスタンスで継続していきたいと考えています。

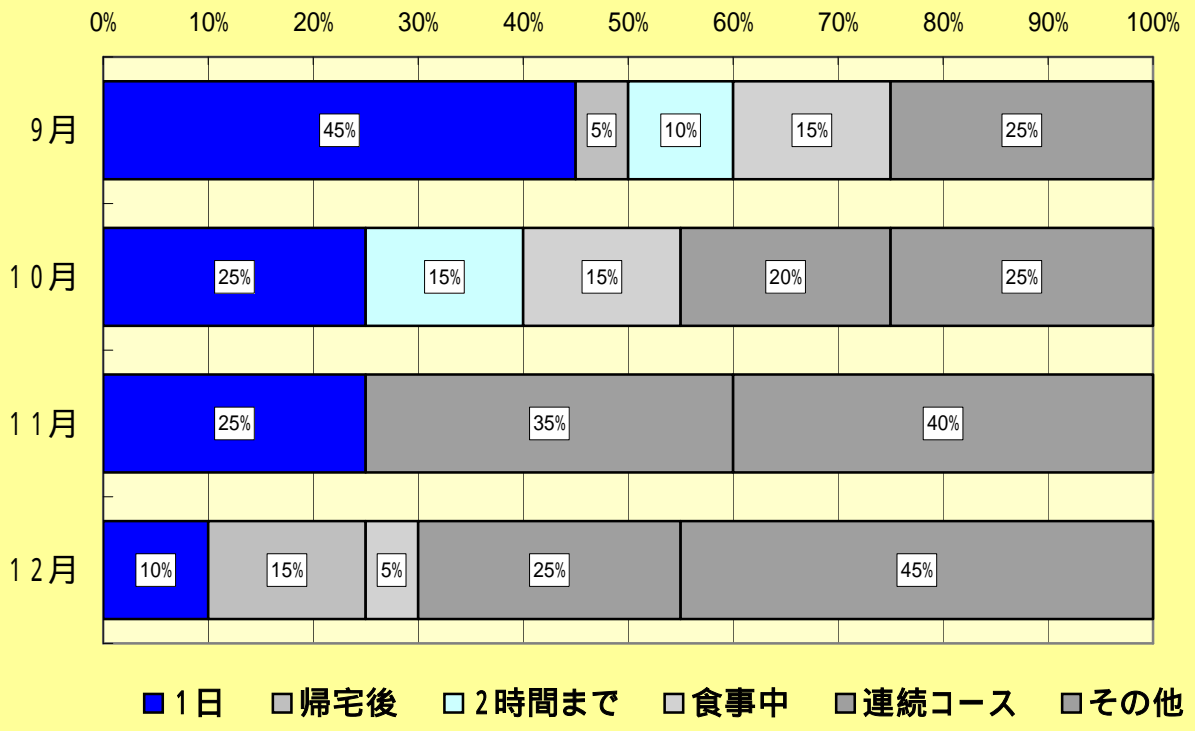
各学校の取組み状況



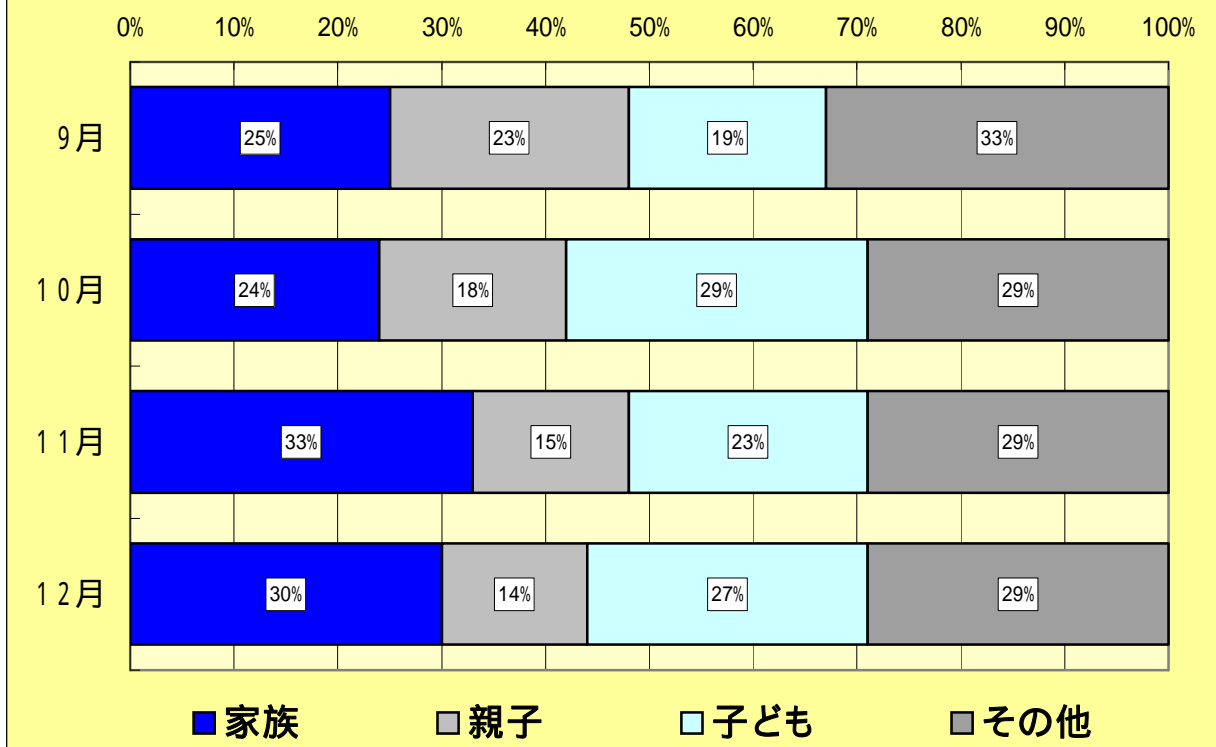
南小学校 月別実施状況



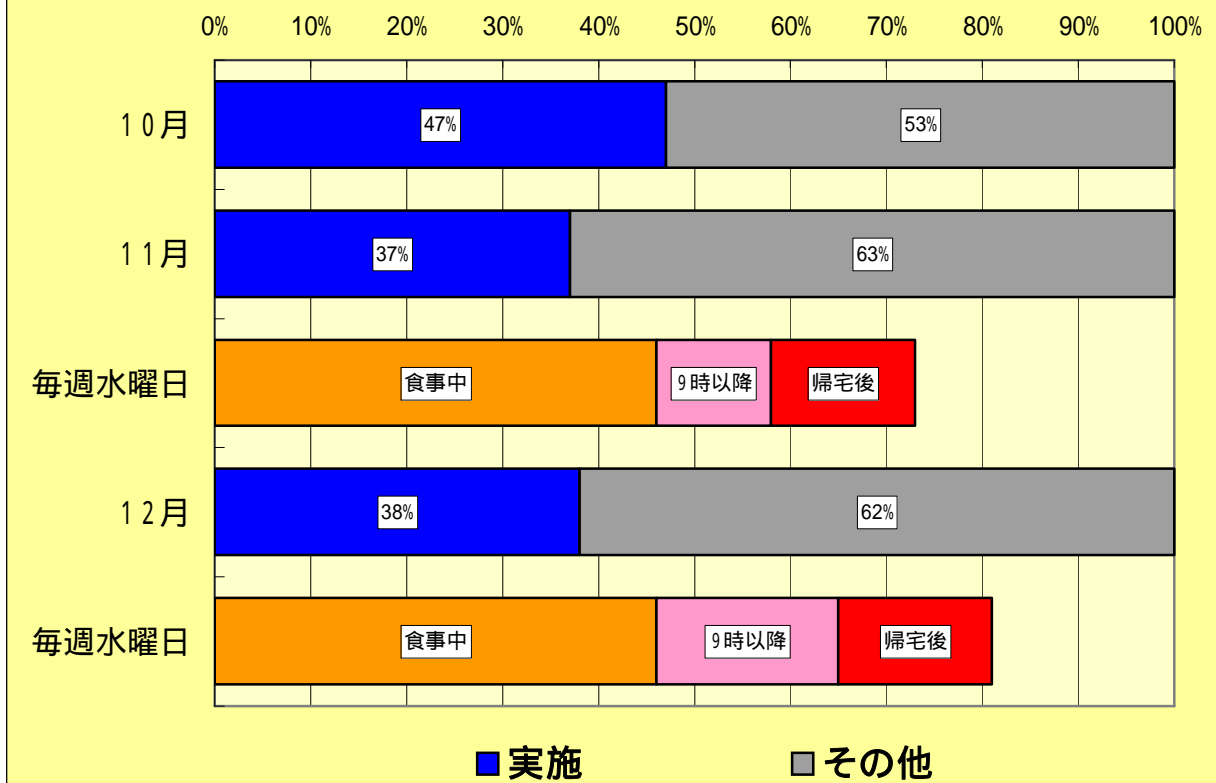
竹田保育園 月別実施状況



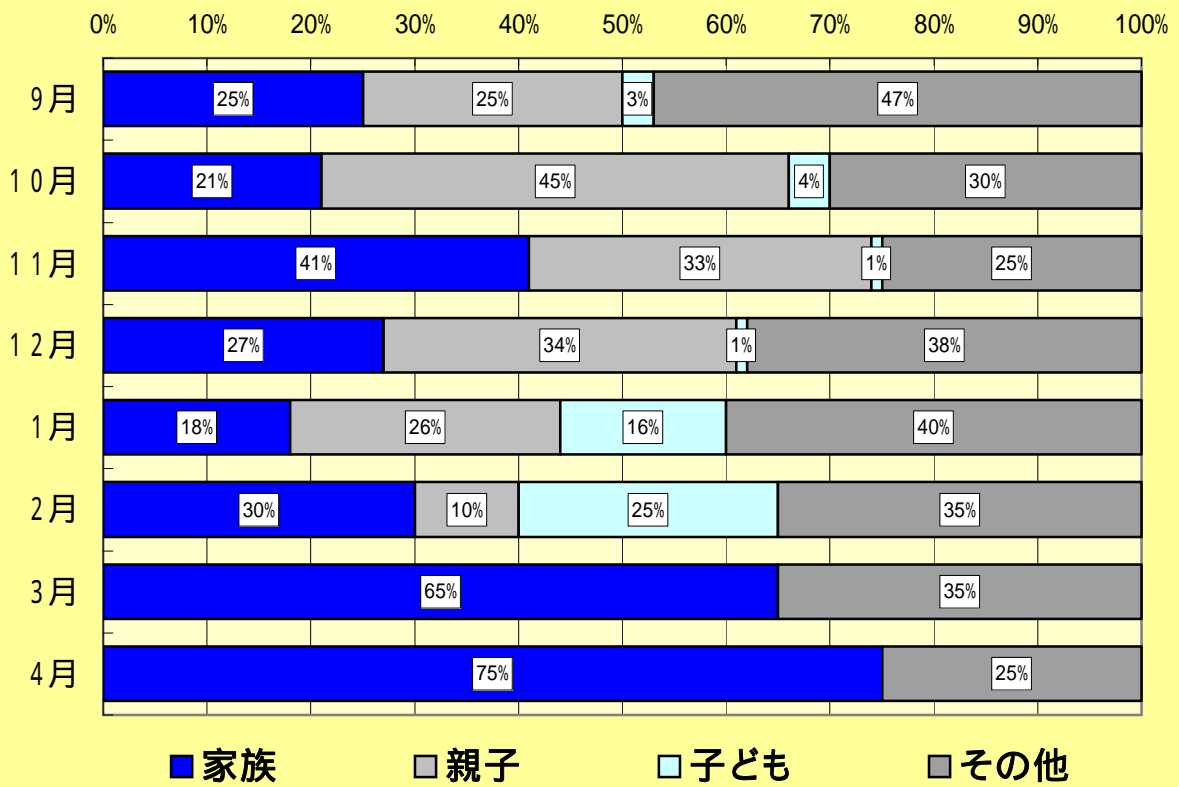
西小学校(1日ノーテレビ) 月別実施状況



三朝保育園(1日ノーテレビ) 月別実施状況



賀茂保育園(1日ノーテレビ) 月別実施状況



中学校 月別実施状況

